



2023年10月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年6月14日

上場会社名 株式会社AB&Company 上場取引所 東
 コード番号 9251 URL <https://ab-company.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 市瀬 一浩
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 出町 典之 TEL 03 (4500) 1383
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績 (2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	8,178	44.1	890	76.1	822	75.9	554	74.6	554	74.6	550	73.1
2022年10月期第2四半期	5,673	5.7	505	△30.9	467	△31.4	317	△28.1	317	△28.1	318	△28.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	36.81	36.53
2022年10月期第2四半期	21.47	21.03

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	23,019	8,069	8,069	35.1
2022年10月期	23,053	7,910	7,910	34.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	28.07	28.07
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期 (予想)	—	—	—	28.07	28.07

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想の修正につきましては、同日公表しております「2023年10月期配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年10月期の連結業績予想 (2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,762	33.1	1,703	24.7	1,579	22.9	1,020	22.9	1,020	22.9	67.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期2Q	15,101,914株	2022年10月期	15,022,414株
② 期末自己株式数	2023年10月期2Q	1,055株	2022年10月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期2Q	15,060,904株	2022年10月期2Q	14,790,257株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ウィズコロナ時代への社会全体の適応が進み景気は緩やかに持ち直しております。

しかしながら、混迷が長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料価格やエネルギーコストの高騰、急激な為替変動による消費者物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は以下のとおりであります。

(売上収益、売上原価、売上総利益)

売上収益は、前第2四半期連結累計期間比2,504百万円増加し、8,178百万円（前年同四半期比44.1%増）となりました。直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店、株式会社BELLTREE・株式会社KESHIKIの連結子会社化に伴う直営店舗増加等が主因で、各セグメントにおける売上収益が増収となりました。前第2四半期連結累計期間比で直営美容室運営事業が2,377百万円、フランチャイズ事業の売上収益が107百万円、インテリアデザイン事業が195百万円、それぞれ増収となりました。

売上原価については、前第2四半期連結累計期間比で1,381百万円の増加となり、4,239百万円（同48.3%増）となりました。

この結果、売上総利益は前第2四半期連結累計期間比1,123百万円増加し、3,939百万円（同39.9%増）となりました。

(販売費及び一般管理費、その他収益、その他費用、営業利益)

販売費及び一般管理費は、直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店に伴う固定費の増加や、事業拡大に伴う人員の増加等により前第2四半期連結累計期間比で749百万円増加し、3,044百万円（同32.6%増）となりました。

その他収益は、前第2四半期連結累計期間比で2百万円減少し、19百万円（同10.8%減）となりました。

その他費用は、前第2四半期連結累計期間比で12百万円減少し、23百万円（同34.7%減）となりました。減少要因は主に減損損失や固定資産除却損の減少によるものです。

この結果、営業利益は前第2四半期連結累計期間比で384百万円増加し、890百万円（同76.1%増）となりました。

(金融収益、金融費用、税引前四半期利益)

金融収益は、前第2四半期連結累計期間比で7百万円減少し、0百万円（同99.7%減）となりました。

金融費用は、前第2四半期連結累計期間比で20百万円増加し、67百万円（同42.9%増）となりました。

この結果、税引前四半期利益は前第2四半期連結累計期間比で354百万円増加し、822百万円（同75.9%増）となりました。

(法人所得税費用、四半期利益)

法人所得税費用は、前第2四半期連結累計期間比118百万円増加し、268百万円（同78.6%増）となりました。

四半期利益は、前第2四半期連結累計期間比で236百万円増加し、この結果、四半期利益は554百万円（同74.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(直営美容室運営事業)

直営美容室運営事業につきましては、新規出店及び株式会社BELLTREE・株式会社KESHIKIの連結子会社化に伴う直営店舗増加が主因で美容サービス収益が増加しました。この結果、売上収益は6,803百万円（同53.7%増）、外部収益は6,803百万円（同53.7%増）、セグメント利益は210百万円（前第2四半期連結累計期間は△42百万円）となりました。

(フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の新規出店及び既存店の増収により、ロイヤリティー収益が増加いたしました。なお、株式会社BELLTREE・株式会社KESHIKIの連結子会社化に伴いセグメント間収益が増加し、外部収益は減少しております。この結果、売上収益は1,098百万円(同10.9%増)、外部収益は630百万円(同0.8%減)、セグメント利益は414百万円(同6.4%増)となりました。

(インテリアデザイン事業)

インテリアデザイン事業につきましては、直営店舗及びフランチャイズ店舗の新規出店により、内装工事等の受注が増加いたしました。この結果、売上収益は1,008百万円(同24.0%増)、外部収益は745百万円(同21.7%増)、セグメント利益は78百万円(同45.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、3,294百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少225百万円、営業債権及びその他の債権の増加283百万円、株主優待実施に伴う棚卸資産の増加42百万円、その他の流動資産の増加14百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ148百万円減少し、19,725百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減少14百万円、使用権資産の減少143百万円等によるものであります。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、23,019百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ548百万円増加し、4,631百万円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務の減少63百万円、契約負債の減少28百万円、借入金(流動)の増加636百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ741百万円減少し、10,319百万円となりました。これは主として、借入金(非流動)の減少616百万円、リース負債(非流動)の減少149百万円等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ192百万円減少し、14,950百万円となりました。

(資本)

資本は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、8,069百万円となりました。これは主として、新株発行及び新株予約権の行使に伴う資本金の増加15百万円、資本剰余金の増加14百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加554百万円に対し、配当に伴う利益剰余金の減少421百万円の差額による利益剰余金の増加132百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ225百万円減少し、1,715百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,137百万円(前年同期は800百万円の増加)となりました。これは主に増加要因として税引前四半期利益822百万円(前年同期比354百万円増加)、減価償却費及び償却費990百万円(前年同期比250百万円の増加)等に対し、営業債権及びその他の債権の増加283百万円(前年同期比95百万円の増加)、棚卸資産の増加42百万円(前年同期比41百万円の増加)、営業債務及びその他の債務の減少54百万円(前年同期比170百万円の減少)、法人所得税の支払額256百万円(前年同期比21百万円の減少)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は268百万円(前年同期は231百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出220百万円(前年同期比76百万円の増加)、無形資産の取得による支出11百万円(前年同期比41百万円の減少)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,095百万円(前年同期は802百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純増額434百万円(前年同期は該当なし)に対し、長期借入金の返済による支出421百万円(前年同期比85百万

円の増加)、リース負債の返済による支出716百万円(前年同期比208百万円の増加)、配当金の支払額421百万円(前年同期は該当なし)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月15日付で公表いたしました2023年10月期通期業績予想に変更はありません。2023年10月期においては引き続き新型コロナウイルス感染症に伴う各種イベントの減少や在宅勤務の定着化の影響を少なからず受けながらも、各セグメントの業績がいずれも堅調に推移すると見込んでおります。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,941	1,715
営業債権及びその他の債権	757	1,041
棚卸資産	71	113
その他の流動資産	408	423
流動資産合計	3,179	3,294
非流動資産		
有形固定資産	1,388	1,374
使用権資産	4,609	4,465
のれん	8,502	8,488
無形資産	4,403	4,406
その他の金融資産	525	544
繰延税金資産	412	412
その他の非流動資産	32	33
非流動資産合計	19,874	19,725
資産合計	23,053	23,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	941	877
契約負債	31	2
借入金	1,029	1,665
リース負債	1,341	1,356
未払法人所得税等	285	285
その他の流動負債	453	442
流動負債合計	4,082	4,631
非流動負債		
借入金	5,780	5,163
リース負債	3,204	3,055
引当金	727	748
繰延税金負債	1,348	1,352
その他の非流動負債	0	—
非流動負債合計	11,061	10,319
負債合計	15,143	14,950
資本		
資本金	169	185
資本剰余金	4,977	4,992
利益剰余金	2,754	2,887
その他の資本の構成要素	7	3
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,910	8,069
資本合計	7,910	8,069
負債及び資本合計	23,053	23,019

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上収益	5,673	8,178
売上原価	△2,858	△4,239
売上総利益	2,815	3,939
販売費及び一般管理費	△2,295	△3,044
その他収益	22	19
その他費用	△36	△23
営業利益	505	890
金融収益	7	0
金融費用	△47	△67
持分法による投資利益又は損失 (△)	2	—
税引前四半期利益	467	822
法人所得税費用	△150	△268
四半期利益	317	554
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	317	554
四半期利益	317	554
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	21.47	36.81
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	21.03	36.53

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期利益	317	554
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△0	△3
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	0	△3
税引後その他の包括利益	0	△3
四半期包括利益	318	550
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	318	550
四半期包括利益	318	550

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年11月1日時点の残高	90	4,924	1,924	1	6,940	6,940
四半期利益	—	—	317	—	317	317
その他の包括利益	—	—	—	0	0	0
四半期包括利益合計	—	—	317	0	318	318
新株の発行	39	13	—	—	53	53
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	39	13	—	—	53	53
2022年4月30日時点の残高	129	4,938	2,242	2	7,312	7,312

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2022年11月1日時点の残高	169	4,977	2,754	7	7,910	7,910
四半期利益	—	—	554	—	554	554
その他の包括利益	—	—	—	△3	△3	△3
四半期包括利益合計	—	—	554	△3	550	550
新株の発行	2	1	—	—	4	4
新株予約権の行使	13	13	—	△0	26	26
剰余金の配当	—	—	△421	—	△421	△421
所有者との取引額合計	15	14	△421	△0	△391	△391
2023年4月30日時点の残高	185	4,992	2,887	3	8,069	8,069

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	467	822
減価償却費及び償却費	740	990
減損損失	7	—
持分法による投資損益 (△は益)	△2	—
金融収益及び金融費用	40	67
固定資産除売却損益 (△は益)	6	17
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△188	△283
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△0	△42
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	116	△54
契約負債の増減額 (△は減少)	△7	△28
その他	△58	△43
小計	1,121	1,445
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△41	△51
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△278	△256
営業活動によるキャッシュ・フロー	800	1,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△144	△220
有形固定資産の売却による収入	3	6
無形資産の取得による支出	△53	△11
差入保証金の差入による支出	△40	△29
差入保証金の回収による収入	5	8
その他	△1	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	434
長期借入金の返済による支出	△336	△421
リース負債の返済による支出	△508	△716
配当金の支払額	—	△421
株式の発行による収入	42	30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△802	△1,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△232	△225
現金及び現金同等物の期首残高	1,394	1,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,162	1,715

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社は持株会社としてグループ経営戦略の策定及びグループ会社の経営指導等を行い、各子会社において事業活動を展開しております。当社グループは、事業の種類別に「直営美容室運営事業」、「フランチャイズ事業」及び「インテリアデザイン事業」の3つを報告セグメントとしております。

直営美容室運営事業は、当社グループにおける直営店舗の運営による美容サービスの提供を行っております。

フランチャイズ事業は、当社グループのフランチャイズ加盟法人に対して、経営指導、店舗運営ノウハウ及び教育研修の提供、プライベートブランド商品の販売、材料仕入、広告代理業務、採用、経理や管理業務の代行等を行っております。

インテリアデザイン事業は、美容室等の内装デザインや施工業者のアレンジ等のサービス提供を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ 事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	4,425	635	612	5,673	—	5,673	—	5,673
セグメント間収益	—	355	200	556	386	942	△942	—
計	4,425	991	813	6,230	386	6,616	△942	5,673
セグメント利益又は 損失 (△)	△42	389	53	400	148	549	△43	505

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ 事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	6,803	630	745	8,178	—	8,178	—	8,178
セグメント間収益	—	468	262	731	426	1,157	△1,157	—
計	6,803	1,098	1,008	8,910	426	9,336	△1,157	8,178
セグメント利益又は 損失 (△)	210	414	78	702	215	917	△26	890

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

(1株当たり情報)

(第1四半期連結累計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	317	554
期中平均普通株式数(株)	14,790,257	15,060,904
基本的1株当たり四半期利益(円)	21.47	36.81

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	317	554
期中平均普通株式数(株)	14,790,257	15,060,904
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加(株)	308,232	116,608
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	15,098,489	15,177,512
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	21.03	36.53

(重要な後発事象)

該当事項はありません。